



第20回全日本パラ空手道競技大会 大会実施要項 ＜公益財団法人 全日本空手道連盟＞

公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業

1. 大会名 第20回全日本パラ空手道競技大会（旧大会名：全日本障がい者空手道競技大会）
2. 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. 後援 スポーツ庁 厚生労働省 （公財）日本スポーツ協会
（予定）（公財）日本オリンピック委員会 （公財）日本武道館 日本武道協議会
（公財）日本パラスポーツ協会 東京都 足立区 （公財）東京都スポーツ協会
4. 日時 令和6年8月11日（日）

選手集合	12:30
開始式	13:30～13:40
競技開始	13:40～16:00
閉会宣言	16:00
5. 場所 東京武道館
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
電話 03-5697-2111
6. 種目
 - (1) 形競技 男子・女子個人戦

クラス1	肢体不自由(上肢障がい)
クラス2	肢体不自由(上下肢・体幹障がい)
クラス3	車椅子
クラス4	視覚障がい
クラス5	聴覚障がい
クラス6	知的障がい
 - (2) 組手競技 男子・女子個人戦

クラス1	肢体不自由(上肢障がい)
クラス2	肢体不自由(上下肢・体幹障がい)
クラス3	車椅子
クラス4	視覚障がい
クラス5	聴覚障がい
クラス6	知的障がい

＜注＞ 各種目のクラス分けについて（細かい区分については別紙1参照）

※申込者数によってクラス分けを調整する場合がある。

① 障がいを各クラスに分けた上で、障がい部位、障がいにより細分し、それぞれのクラス

KARATE WEEK

で男女別・年齢別に分けて実施する。

- ② 年齢（令和6年4月1日現在）は次の区分に分けて競技するものとする。
 - A. 10～12歳
 - B. 13歳～15歳
 - C. 16歳～20歳
 - D. 21歳～39歳
 - E. 40歳～65歳
 - F. 65歳以上（形競技のみ）
- ③ 障がい複数あり、それぞれのクラスで出場が可能である場合でも、参加できるのは一つのみとする。複数のクラスにまたがったの申し込みは認めない。
- ④ 申し込み後にクラスを変えての参加は認めない。
- ⑤ 組手競技のクラス6については、申込みがあっても障がいの程度により出場できない場合がある。

7. 競技規定

- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定（2023年4月1日初版、新ルール）並びに本大会申し合わせにより行う。
- (2) 形競技個人戦
 - ア. トーナメント方式で1名ずつ行う。
 - イ. 3位決定戦は行わない。
 - ウ. 勝敗は得点により決定する。
ただし、必要に応じ、審判員が協議して決定する場合もある。
 - エ. 形は自由選択とする。
また、各自の身体機能を考慮し、創意工夫により形の内容を適宜改変することを認める（必ずしも規定の形どおりでなくともよい）。
 - オ. 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。
- (3) 組手競技個人戦
 - ア. トーナメント方式で行う。
 - イ. 3位決定戦は行わない。
 - ウ. 競技時間は2分間フルタイムとする。
 - エ. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。それでも決しない場合個人戦においては、副審の4名と主審の個々の判断に基づき、判定により勝敗を決定する。
- (4) 安全具
 - ア. 組手全種目の競技において、全空連承認拳サポーター、同メンホー（ミズノNo.7）、メンホー用マウスシールド（ミズノ製）任意装着、ボディプロテクター、全空連またはWKF承認のインステップガード、シンガードを着装すること。また、男子選手（車椅子使用の競技を除く）は、ファウルカップを必ず装着すること。
 - イ. 安全具・帯（赤、青）は各自において用意し、安全具装着のない選手は参加できないので、充分注意すること。
- (5) 服装
 - ア. 監督・コーチ等
 - ① 白の空手着を着用すること。但し、介助者はこの限りでない。
 - ② 監督・コーチ・介助者は、IDカードを明示すること。
 - イ. 選手
 - ① 競技規定に沿った白の空手着を着用すること。胸マークは自由とする。
 - ② 金属類のヘアバンド等の装着は認めない。
 - ③ 形競技での補装具の装着を認める。

KARATE WEEK

- ④ 組手競技での補装具は、事前にクラス別に安全を確認されたものについてのみ、その装着を認める。

ウ. 審判員

- ① 全空連審判員規定の服装による。

エ. 介助者

- ① IDカード、ビブスを着用（ビブスは大会当日に入場口で付与されたものを着用）。

8. 表彰

形・組手ベスト8以上進出選手を以下の通り表彰する。

- (1) 種目別、同一クラスごとに第1位、第2位、第3位（2名）、第5位（4名）の選手にメダルを授与する。
- (2) 表彰はクラスごとに競技終了後順次行う。
- (3) 参加者全員に参加賞を授与する。

9. 監督会議

オンライン会議

令和6年7月30日（火）19:00～20:30

※全少大会、パラ競技大会、体重別大会の順に説明を行う

10. 審判団

- (1) 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

11. 出場資格

(1) 選手

- ア. 令和6年4月1日現在、10歳以上の身体障がい者及び知的障がい者（平成26年4月1日以前に生まれた者）とする。
- イ. 身体障がい者は身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規程により、身体障害手帳の交付を受けた者。
- ウ. 知的障がい者は厚生事務次官（昭和48年9月27日厚生省児第156号）による療育手帳の交付を受けた者。
- エ. 各都道府県連盟が出場を認めた者であること。
- オ. (公財)全日本空手道連盟会員であること。
- カ. 「JKF会員マイページ」に登録をしていること。

（全空連の会員登録だけではJKF会員マイページ登録をしたことにはならない）

※申請時に会員登録・JKF会員マイページ登録が完了していない場合は出場できない。

《マイページ登録問合せ先》

- ・全空連ホームページお問合せフォーム
- ・TEL: 0120-15-6003(10時～16時 土日祝日も対応)

※令和6年4月1日現在で10歳未満の者はいかなる場合も出場を認めない。



全空連マイページ QRコード

KARATE WEEK

- (2) 監督・コーチ（各1名まで可）
 - ア.（公財）全日本空手道連盟会員であること。
 - イ. 公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上又は都道府県審判員（組手、形のどちらか又は両方）以上の資格を有する者。「JKF 会員マイページ」に登録済のこと。
- (3) 介助者（選手1名に対し1名まで可）

選手の出場に際して、介助者を伴うことを認める。（資格は問わない）
監督・コーチを代行する介助者は、申込時にチェックを入れること。

12. 出場申込み

※大会エントリーは web 申し込みのみ

- (1) 同一者が、形と組手の両方の競技に参加することを認める。
- (2) 出場費は、1種目につき5,000円とする。
各都道府県連盟の大会担当者が出場種目数の合計額を一括で支払う。

13. 申込み期間 令和6年5月7日(火)～6月3日(月)必着 締切り日厳守

14. 健康・安全管理

- (1) 大会期間中の傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
- (2) 出場に際しては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に充分留意すること。
- (3) 大会会場においては、応急措置を行うが、症状により救急病院での診察治療も必要となることも考慮し、選手は健康保険証、身体障害者手帳及び療育手帳等（愛の手帳、愛護帳、みどりの手帳）、治療に要するものを必ず携行すること。

15. 宿泊等について

- (1) 交通費、宿泊費は自己負担とする。

16. 肖像権について

本大会は、都内ケーブルテレビ及びYouTube「TOKYO パラスポーツチャンネル」、全日本空手道連盟の公式YouTube「JKF CHANNEL」で放送される。YouTubeには、放送終了後もアーカイブ映像として公開される。観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。
- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォーム (<https://www.jkf.ne.jp/contactus>) により対応に応じる。

17. その他

- (1) ゼッケンは全空連で作成し、各都道府県連盟宛に7月上旬までに送付する。各連盟はゼツ

KARATE WEEK

- ケンを査収の上、各選手に確実に配布すること。
- (2) 選手は開始式、表彰式、閉会式には必ず参加すること。
 - (3) 各クラスを等級により細分化しないので、公平性を担保するために申し合わせ事項を定めることができる。

18. 問い合わせ先

問い合わせに際しては、都道府県空手道連盟の担当者がおこなうこと。

公益財団法人全日本空手道連盟 企画業務課 岡崎 紀創

T E L : 03-5534-1951 E-mail : k-okazaki@jkf.jp

19. 東京武道館の利用に関して、以下の行為を禁止する

- ◆観覧席確保のために、大会前日から東京武道館入口周辺にガムテープを使用してブルーシート等を貼って場所取りをし、飲酒すること。
(出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただきます場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい)
- ◆大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行うこと（館外での練習は終日禁止）。
- ◆館内にくつを直に持ち込むこと
(必ずくつ袋に入れてから入館すること。くつ袋は各自で準備すること。全空連では配布しない)
- ◆観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること。
また大会初日終了後に荷物を観客席に置いて帰ること。
- ◆東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をすること
(バスを利用する場合は、別添資料にある駐車場案内図を参照の上当該駐車場に直接相談すること。なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること)。
- ◆館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。

申し合わせ事項 1

クラス4に出場する選手はアイマスク(全空連が用意)の着用を義務付ける。

※その他の申し合わせ事項は順次お知らせする

以上

競技区分

【障害区分】

- クラス 1 肢体不自由（上肢障がい）
- クラス 2 肢体不自由（上下肢・体幹障がい）
- クラス 3 車椅子
- クラス 4 視覚障がい
- クラス 5 聴覚障がい
- クラス 6 知的障がい

【年齢区分】

- A. 10～12 歳
- B. 13 歳～15 歳
- C. 16 歳～20 歳
- D. 21 歳～39 歳
- E. 40 歳～65 歳
- F. 65 歳以上（形競技のみ）

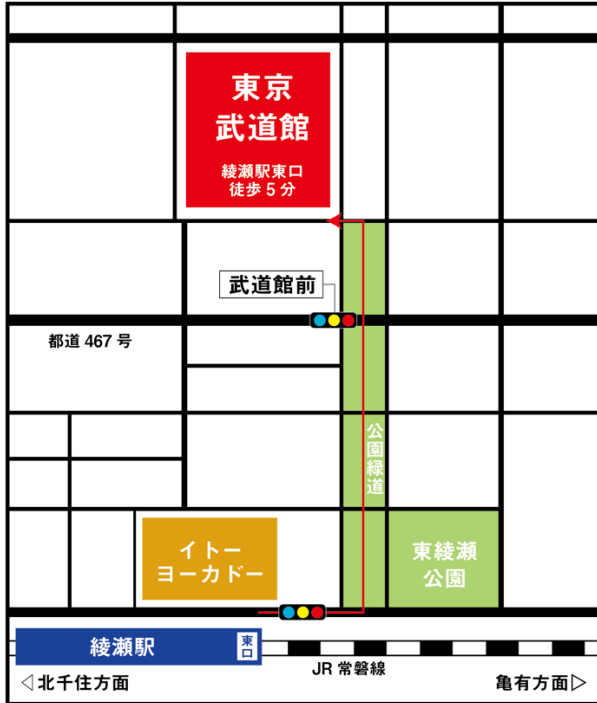
※年齢は令和 6 年 4 月 1 日現在

※形競技については出場年齢区分の上限を設けない。

※競技区分表については監督・コーチ・介護者のみ参照。

※申込者数によって年齢区分を調整する場合があります。

東京武道館 来館の注意点



※できる限り公共交通機関での来場をお願いします。

KARATE WEEK

○電車をご利用の場合

J R 山手線・京浜東北線「西日暮里」駅乗換え

東京メトロ千代田線「綾瀬」駅東口下車徒歩5分（東綾瀬公園内をお通りください。）

○車をご利用の場合

※東京武道館周辺道路、私有地は駐車禁止です。

1. 首都高速6号三郷線、加平ICから環七通りを東進、加平二丁目の交差点を右折して南進し、武道館北口交差点を左折200m(大型バスは不可)
2. 首都高速中央環状線、千住新橋ICから国道4号へ、梅島陸橋を右折、環七を東進、以下、1と同様(大型バスは不可)
3. 大型バスの駐車及び武道館周辺での乗降はできません。

○歩行のマナー、以下の行為はおやめください。

- ・マンションなどの住宅敷地や駐車場への立ち入り
- ・集団で横に広がった歩行
- ・騒音（大声での会話・指示など）
- ・道路などへのゴミ捨て
- ・道路などでの喫煙・ポイ捨て

<綾瀬駅改札口付近での待合せはご遠慮ください。>

○喫煙について

- ・大武道場北側2階に臨時喫煙所を設置しております指定する事項を遵守の上、ご利用ください